

V-Repair 1.0

外壁補修管理システム

機能概要書



まえがき

本「**V-Repair**」については、「**V-Wall**」の姉妹製品として、Microsoft社のVisioを基本エンジンに開発を行いました。
本システムの大きな特徴は、従来のCADシステムと違い専任のオペレーターを必要とせずに、現場担当の技術者の皆様を始めとして、どなたでも簡単に外壁補修結果図面の作成を行う事が可能となります。
また、図面作成が完了すると同時に、数量計算も行われますので、従来、図面作成と数量の計算にかかっていた時間を大きく短縮できます。

建物の外壁補修結果図面については、爆裂(鉄筋露出補修・タイル補修)注入等、補修完成図面の作成と数量の集計に活用するものです。

初期インターフェース

「**V-Repair1.0**」の初期画面は、下記の通りです。

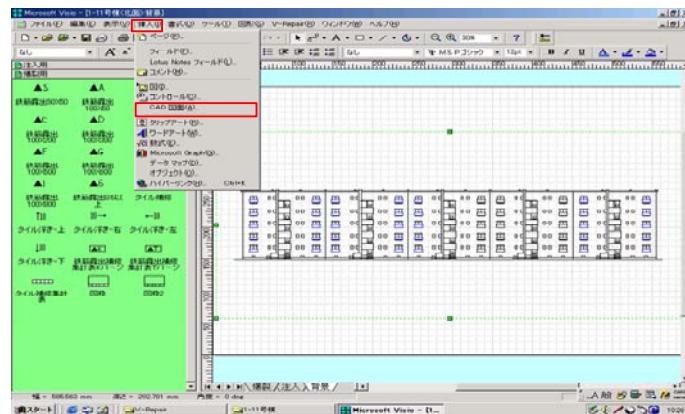


「外壁補修成果図面」

補修成果図作成の作業手順は、以下のとおりとします。

1. 図面(住棟立面図)データの挿入

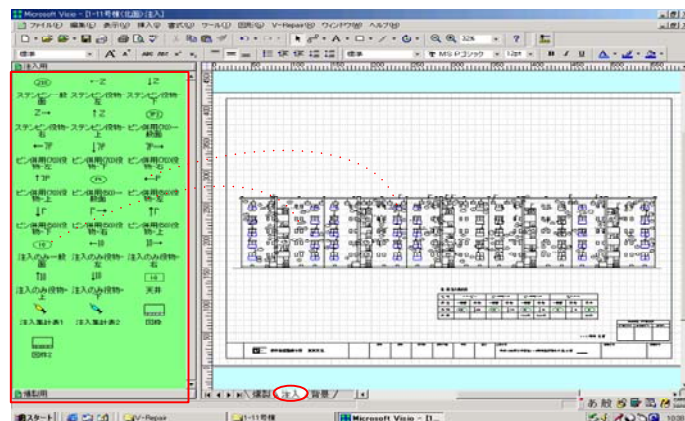
「V-Repair 1. 0」では、どなたでも活用いただけるよう住棟立面図は作成せずに、他のCADで作成されたものを挿入して活用します。



1. 挿入機能により、CAD図面を本システムに取り込みます。

2. 補修完成箇所の作成

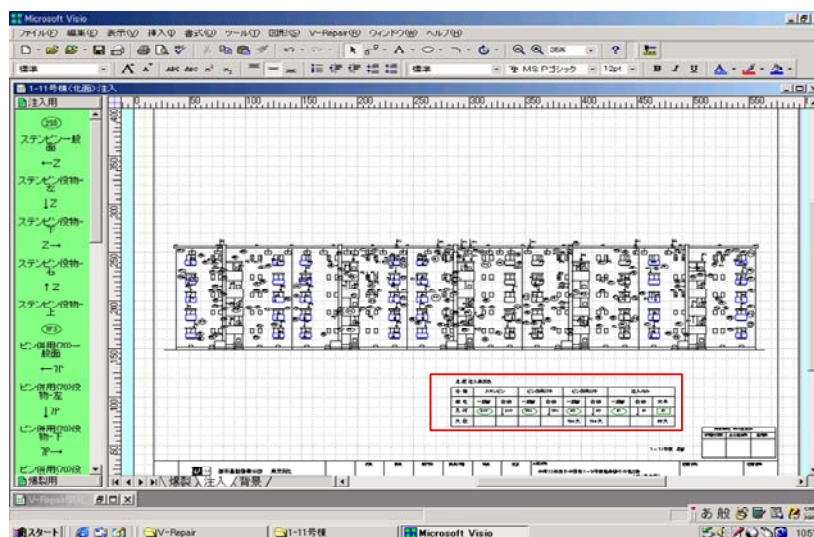
1の操作完了後「爆裂」「注入」の各項目別の「ページ」で作業を行います。



2. 補修結果を各ステンシル(図形の格納場所)からシェープ(補修項目毎の図形)を、マウスで図面に貼り付けて行きます。

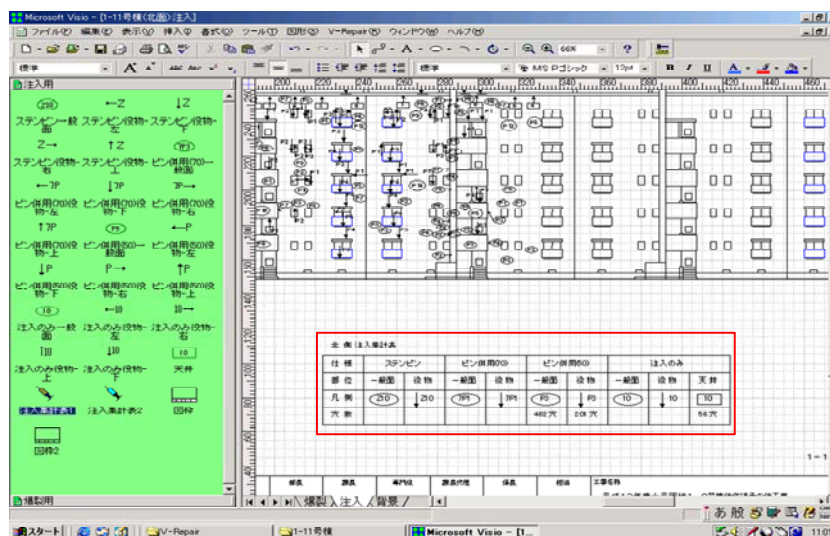
3. 補修数量の算出

2の操作により「補修成果図面」が完成します。



3. 補修成果図面を作成すると、自動的に数量が集計され補修項目別に数量集計表が図面上に作成されます。

4. 補修結果の変更



4. 補修成果に変更が生じた場合、図面内のシェープを変更(加えたり、削除)すると、自動的に数量が変更されます。

5. 数量集計表の種類

発注元別に、補修成果図面の作成仕様に若干の違いがあります。

内容としては、数量集計表のみ形式が違うため、二通りの集計表をシェイプで作成しておき発注元により、どちらかの集計表を使うものとします。

1) 注入集計表1

側 注入集計表

仕様	ステンピン		ピン併用(70)		ピン併用(50)		注入のみ		
	一般面	役物	一般面	役物	一般面	役物	一般面	役物	天井
凡例	Z10	↓ Z10	7P1	↓ 7P1	P3	↓ P3	10	↓ 10	10
穴数	829穴	0穴	615穴	0穴	2496穴	661穴	0穴	0穴	0穴

2) 注入集計表2

注入数量表1と違うのは、補修(注入)面積を表示する項目があるところです。

ただし、発注元により1㎡あたり穴数に違いがありますので、㎡当りの穴数を入力する事により、面積(㎡)が表示されます。

穴数を入力します。

側 注入集計表

仕様	ステンピン		ピン併用(70)		ピン併用(50)		注入のみ		
	一般面	役物	一般面	役物	一般面	役物	一般面	役物	天井
凡例	Z10	↓ Z10	7P1	↓ 7P1	P3	↓ P3	10	↓ 10	10
穴数	829穴	0穴	615穴	0穴	2496穴	661穴	0穴	0穴	0穴
面積	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡

補修(注入)面積が表示されます。



Civil &
Construction Information
Technology

株式会社シーアンドシー技術情報

Head Office 〒150-0036 東京都渋谷区南平台町7番15号
南平台コート 31

TEL: 03-5456-1771 FAX: 03-5728-5046

URL <http://www.candc-infotec.co.jp/>

Satellite Office

東京(銀座・目白・田町・水道橋)、札幌、岡山、熊本